

## 2022年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 **穴吹興産株式会社** 上場取引所 東  
 コード番号 **8928** URL <https://www.anabuki.ne.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 穴吹 忠嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 富岡 徹也 TEL 087-822-3567  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 2022年3月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年6月期第2四半期の連結業績(2021年7月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第2四半期	59,481	18.7	5,004	76.8	5,052	75.8	3,307	114.2
2021年6月期第2四半期	50,120	9.7	2,830	10.0	2,874	14.9	1,544	3.8

(注) 包括利益 2022年6月期第2四半期 3,329百万円(110.3%) 2021年6月期第2四半期 1,582百万円(3.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第2四半期	310.09	—
2021年6月期第2四半期	144.75	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年6月期第2四半期	114,179	33,736	29.0	3,101.74
2021年6月期	114,371	30,836	26.4	2,831.72

(参考) 自己資本 2022年6月期第2四半期 33,085百万円 2021年6月期 30,205百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期	—	22.50	—	32.50	55.00
2022年6月期	—	23.00			
2022年6月期(予想)			—	32.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	6.0	5,500	△4.6	5,000	△9.8	3,300	△10.4	309.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年6月期2Q	11,535,600株	2021年6月期	11,535,600株
② 期末自己株式数	2022年6月期2Q	868,758株	2021年6月期	868,758株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年6月期2Q	10,666,842株	2021年6月期2Q	10,666,880株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気回復は足踏み状態となっておりますが、ワクチン接種の進展等に伴う感染者数の減少を背景とした、2021年9月末の「緊急事態宣言」等の解除以降は、緩やかに回復の兆しも見られておりました。しかしながら、新たな変異株による感染の再拡大が生じており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

不動産業界においては、感染再拡大への懸念や、原材料の高騰による建設工事費や工期への影響等、引き続き注意を要する状況ではありますが、継続的な政府による住宅取得支援制度や低金利環境により、住宅関連を中心に不動産市況全体として、堅調に推移しております。

このような状況のなかで、当社グループの主力事業である分譲マンション事業におきましては、引き続き感染拡大防止のための各種対策を十分に講じ、お客様が安心してご来場いただける環境づくりや、IT技術を活用したオンライン商談により、販売活動を継続してまいりました。また、新たな中期方針『ポストコロナ時代を見据えたポートフォリオ経営の構築』の実現に向け、新規営業所の開設や、アフターコロナを見据えた新規事業や新しい商品、サービスの開発などに積極的に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は59,481百万円（前年同期比18.7%増）、営業利益5,004百万円（同76.8%増）、経常利益5,052百万円（同75.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,307百万円（同114.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントに含まれない事業セグメントとして「その他」を加えております。

#### ① 不動産関連事業

不動産関連事業におきましては、主力である分譲マンションの販売について、当第2四半期連結累計期間における新規販売開始マンションが前期に比して少なかったことにより、当第2四半期連結累計期間における契約戸数は986戸（前年同期比1.8%減）となりました。また、当第2四半期連結累計期間における完成引渡マンションが前期に比して多かったことにより、売上戸数は1,056戸（同14.0%増）となりました。なお、通期売上予定戸数1,981戸のうち、当第2四半期連結会計期間末における未契約住戸は96戸を残すだけとなっております、引き続き堅調な状況で推移いたしました。また、首都圏を中心に「グローリオ」シリーズの分譲マンション事業や新築一棟収益マンション事業を行うあなぶきホームライフ株式会社では、当第2四半期連結対象期間において、分譲マンションの販売につき、契約戸数は36戸、売上戸数は66戸、これに加えて新築一棟収益マンションの販売につき、4棟の引渡しとなりました。

この結果、不動産関連事業の売上高は44,298百万円（前年同期比25.7%増）、営業利益は4,720百万円（同86.1%増）となりました。

なお、分譲マンションにおける他社との共同事業における戸数については、当社事業割合で計算しております。

#### ② 人材サービス関連事業

人材サービス関連事業におきましては、女性の労働参加率の向上、障がい者の雇用支援、海外人材の活用など、あらゆる「ひと」の働き方を支援し、顧客とのパートナーシップにより新たな雇用を創り出すことで、地域社会の課題解決に貢献するとともに収益の拡大に取り組みました。

この結果、人材サービス関連事業の売上高は2,960百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は37百万円（同63.3%減）となりました。

なお、営業利益の減少の主な要因は、対面による営業活動の再開及び基幹システムリニューアルによる販売費及び一般管理費の増加によるものであります。

#### ③ 施設運営事業

施設運営事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、主力であるホテル事業及び施設運営受託事業において、施設利用の低稼働状態が続きましたが、感染状況が落ち着いた2021年11月以降は緩やかな回復が見られました。

この結果、施設運営事業の売上高は2,316百万円（前年同期比11.7%増）、営業損失は9百万円（前年同期は営業損失193百万円）となりました。

## ④ 介護医療関連事業

介護医療関連事業におきましては、お客様の安全安心を第一に、運営する有料老人ホーム（介護付き・住宅型）及びサービス付き高齢者向け住宅における感染対策に注力しました。また、特定施設入居者生活介護事業者の認可を受けるべく、公募事業に取り組みました。

この結果、介護医療関連事業の売上高は2,918百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は166百万円（同38.6%増）となりました。

## ⑤ 小売流通関連事業

小売流通関連事業におきましては、長崎県にて事業展開を行っているスーパーマーケット事業（12店舗）において、新商品開拓や開発の強化、また「食」と「住」を繋ぐ新しい地域創生ビジネスモデルやネットスーパー事業の拡充を推進し、収益体制の確立を目指しました。

この結果、小売流通関連事業の売上高は4,157百万円（前年同期比6.9%減）、営業損失は21百万円（前年同期は営業利益54百万円）となりました。

なお、営業損失の主な要因は、2021年8月の豪雨及び長雨に伴い店舗への来客数が減少し、売上が減少したことによるものであります。

## ⑥ エネルギー関連事業

エネルギー関連事業におきましては、高圧一括受電により分譲マンション等へ割安な電力提供を行う電力提供事業において、サービス提供戸数及び施設の拡大に注力いたしました。また、省エネルギーの促進やEV充電器の普及、再生可能エネルギーの活用に関わる新商品の開発にも取り組みました。

この結果、エネルギー関連事業の売上高は2,585百万円（前年同期比18.3%増）、営業利益は158百万円（同40.7%減）となりました。

なお、営業利益の減少の主な要因は、耐用年数に応じた受電設備の交換費用を一括計上したことによるものであります。

## ⑦ 観光事業

観光事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、引き続き利用客の減少等が続いておりますが、コロナ禍でも安全安心に楽しめるよう、感染対策を十分に講じながら、新しい旅の仕組みの提供や、少人数高付加価値な新サービスの開発に加え、行政機関から受託した様々な四国観光推進事業にも取り組みました。

この結果、観光事業の売上高は239百万円（前年同期比25.0%減）、営業損失は71百万円（前年同期は営業損失58百万円）となりました。

## ⑧ その他

その他におきましては、当社グループにおける経理、財務、総務、人事等のコーポレート部門のシェアードサービスを行いました。

この結果、売上高は5百万円、営業利益は19百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は84,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,410百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が7,770百万円増加したことによるものであります。固定資産は30,082百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,601百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が4,015百万円減少したことによるものであります。これらは主に、前第2四半期連結会計期間において、あなぶきホームライフ株式会社（旧名称：セコムホームライフ株式会社）の株式を取得し子会社化したことによるものであります。

この結果、総資産は、114,179百万円となり、前連結会計年度末に比べ191百万円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は38,949百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,023百万円減少いたしました。これは主に前受金が3,048百万円減少したことによるものであります。固定負債は41,492百万円となり、前連結会計年度末に比べ930百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が953百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債は、80,442百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,092百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は33,736百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,900百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益3,307百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は29.0%（前連結会計年度末は26.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年8月11日付「2021年6月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,975,110	12,745,578
受取手形及び売掛金	1,573,351	1,912,813
販売用不動産	20,051,335	19,831,872
仕掛販売用不動産	47,833,325	45,307,583
その他の棚卸資産	340,587	376,245
その他	5,922,969	3,932,945
貸倒引当金	△9,488	△9,839
流動資産合計	80,687,192	84,097,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,538,014	13,298,211
機械装置及び運搬具(純額)	97,762	98,811
土地	8,175,837	8,415,688
建設仮勘定	35,164	37,314
その他(純額)	855,459	800,210
有形固定資産合計	22,702,237	22,650,236
無形固定資産		
のれん	103,784	92,859
その他	374,138	330,936
無形固定資産合計	477,922	423,795
投資その他の資産		
投資有価証券	5,334,470	1,318,698
長期貸付金	1,687,078	2,247,898
繰延税金資産	1,351,441	1,322,649
その他	2,487,065	2,473,107
貸倒引当金	△356,223	△354,305
投資その他の資産合計	10,503,832	7,008,049
固定資産合計	33,683,993	30,082,082
資産合計	114,371,185	114,179,283

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,151,167	6,680,801
短期借入金	13,689,000	14,425,330
1年内償還予定の社債	2,072,000	1,970,400
1年内返済予定の長期借入金	3,174,398	3,517,628
未払法人税等	1,984,182	1,833,796
賞与引当金	673,909	673,131
前受金	9,153,623	6,105,526
その他	4,074,788	3,743,181
流動負債合計	42,973,068	38,949,795
固定負債		
社債	10,988,600	11,104,200
長期借入金	26,160,010	27,113,345
退職給付に係る負債	1,358,012	1,389,385
役員退職慰労引当金	63,286	63,286
繰延税金負債	162,849	-
その他	1,829,211	1,822,553
固定負債合計	40,561,969	41,492,769
負債合計	83,535,038	80,442,564
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	755,794	755,794
資本剰余金	821,274	821,274
利益剰余金	29,082,398	31,961,693
自己株式	△445,120	△445,120
株主資本合計	30,214,346	33,093,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,742	△7,787
その他の包括利益累計額合計	△8,742	△7,787
非支配株主持分	630,543	650,864
純資産合計	30,836,147	33,736,718
負債純資産合計	114,371,185	114,179,283



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)
売上高	50,120,240	59,481,135
売上原価	39,561,436	45,727,935
売上総利益	10,558,803	13,753,200
販売費及び一般管理費	7,728,108	8,749,169
営業利益	2,830,694	5,004,031
営業外収益		
受取利息	29,742	29,177
受取配当金	4,123	25,873
受取手数料	4,861	3,767
補助金収入	222,141	199,805
その他	46,612	85,226
営業外収益合計	307,482	343,851
営業外費用		
支払利息	186,233	236,637
社債発行費	-	14,946
支払手数料	34,534	17,725
その他	43,364	26,239
営業外費用合計	264,133	295,549
経常利益	2,874,044	5,052,333
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	7,063	25,139
投資有価証券評価損	4,123	-
和解金	200,000	-
特別損失合計	211,187	25,139
税金等調整前四半期純利益	2,662,856	5,027,193
法人税、住民税及び事業税	1,252,747	1,833,384
法人税等調整額	△173,614	△134,478
法人税等合計	1,079,133	1,698,906
四半期純利益	1,583,723	3,328,287
非支配株主に帰属する四半期純利益	39,689	20,603
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,544,034	3,307,683

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,583,723	3,328,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△976	955
その他の包括利益合計	△976	955
四半期包括利益	1,582,746	3,329,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,543,057	3,308,639
非支配株主に係る四半期包括利益	39,689	20,603

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は152,193千円増加し、売上原価は112,125千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ40,067千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は81,334千円減少しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度末より、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りに関する仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 関連事業	人材サービス 関連事業	施設運営 事業	介護医療 関連事業	小売流通 関連事業	エネルギー 関連事業	観光事業
売上高							
外部顧客への売上高	35,241,893	3,017,687	2,073,024	2,818,444	4,463,757	2,186,063	319,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	108,710	5,008	9,654	450	6,587	26,297	961
計	35,350,603	3,022,696	2,082,679	2,818,894	4,470,345	2,212,361	320,331
セグメント利益又は損失(△)	2,536,704	102,599	△193,754	120,393	54,934	266,638	△58,896

(単位:千円)

	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高			
外部顧客への売上高	50,120,240	—	50,120,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	157,670	△157,670	—
計	50,277,910	△157,670	50,120,240
セグメント利益又は損失(△)	2,828,621	2,073	2,830,694

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						
	不動産 関連事業	人材サービス 関連事業	施設運営 事業	介護医療 関連事業	小売流通 関連事業	エネルギー 関連事業	観光事業
売上高							
外部顧客への売上高	44,298,375	2,960,696	2,316,414	2,918,221	4,157,089	2,585,686	239,381
セグメント間の内部売上高 又は振替高	116,554	4,521	10,746	1,985	7,393	19,794	583
計	44,414,930	2,965,217	2,327,161	2,920,206	4,164,483	2,605,481	239,964
セグメント利益又は損失(△)	4,720,760	37,697	△9,619	166,823	△21,410	158,024	△71,238

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	59,475,866	5,269	59,481,135	-	59,481,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	161,579	91,570	253,150	△253,150	-
計	59,637,445	96,840	59,734,285	△253,150	59,481,135
セグメント利益又は損失(△)	4,981,037	19,780	5,000,818	3,213	5,004,031

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループにおける経理、財務、総務、人事等のコーポレート部門のシェアードサービスを行っております。

2. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。